



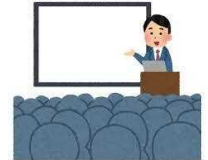
令和元年度 秋田県総合教育センター
総合教育センターだより

第171号
 令和元年8月30日発行
 〒010-0101 湯上市天王宇追分西29-76
 TEL 018-873-7200 (代表)
<https://www.akita-c.ed.jp>

第34回秋田県教育研究発表会 発表者を募集します!

秋田県総合教育センターでは、本県教育の振興を目指して、県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、各学校、教育機関等における教育研究成果の普及・交流を図るために、発表会コンセプト「郷土あきたの教育への提案」の下、次のとおり「第34回秋田県教育研究発表会」を開催いたします。

〈 期 日 〉 令和2年2月6日(木)・7日(金)
 〈 会 場 〉 秋田県総合教育センター



開催に当たり、次のとおり発表者を募集していますので、奮って御応募ください。

研究分野

- | | | |
|---------|-------------------------------------|----------------------|
| ① 学校運営 | ② 教科等指導(道徳, 総合的な学習(探究)の時間, 特別活動を含む) | |
| ③ 生徒指導 | ④ 情報教育 | ⑤ 特別支援教育 |
| ⑥ 就学前教育 | ⑦ ふるさと教育, キャリア教育 | ⑧ その他教育に関すること(環境教育等) |

発表者

次の(1)~(5)のいずれかに該当する県内の幼稚園・保育所・認定こども園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員及び教育委員会・教育機関の職員を発表者とする研究発表を募集します。

- (1) 秋田県教育委員会から研究発表の要請を受け、所属長の承諾を得た者
- (2) 研究委嘱や指定、各地区の研究会等での発表者で、会長及び所属長の承諾を得た者
- (3) 秋田大学等における大学院派遣研修生及び修了した方で、所属長の承諾を得た者
- (4) 日本教育公務員弘済会等の研究論文募集に応募し、入選された方で、所属長の承諾を得た者
- (5) 発表を希望し、所属長の推薦を得た者

発表形式

「(1)口頭発表」と「(2)ポスター発表」の二つの発表形式による研究発表を募集します。教育現場での汎用性がある研究発表を基本とし、発表のまとめが「提案を基調とする内容」となるようにお願いします。

発表の申込み

発表を希望する方は、所属長の承諾・推薦を得て、所定の様式により電子メールで申し込んでください。申込書は、当センターウェブサイトからダウンロードしてください。

◆ 申込期間 **令和元年9月2日(月)~10月31日(木)**

◆ 申込み・問合せ先 秋田県総合教育センター
 教科・研究班 黒澤 望・阿部 智博

TEL:018-873-7203 E-mail:happy@akita-c.ed.jp



教育研究発表会参加申込みの受付は、12月上旬からです

参加の申込方法等を記した「第二次案内」を、12月上旬に当センターウェブサイトに掲載し、参加の申込みを受け付けますので、今しばらくお待ちください。なお、上記発表の他、「センター研究発表」「講演」など、参加者が様々な教育実践や教育研究にふれたり、実践を紹介し合ったりする内容となっています。多数の参加をお待ちしております。

★詳しくは、当センターウェブサイトのトップページ(<https://www.akita-c.ed.jp/>)にある新着情報の(2019.07.08)「第34回秋田県教育研究発表会」のお知らせ→「第34回 秋田県教育研究発表会 第一次案内」を御覧ください。

論理的思考力を育む小学校プログラミング教育

来年度から小学校で本格的にスタートするプログラミング教育のねらいや育成する資質・能力について理解し、児童の「プログラミング的思考」を育む授業づくりの講座を開催しました。「教科等における小学校プログラミング教育の進め方(授業づくり)」の研修では、総合的な学習の時間、算数、理科で実際に活用できる学習活動例が紹介され、実践的な知識や技術を身に付ける機会となりました。



〈受講者の振り返り票から〉

- ・スクラッチで多角形を描いたり、プログラミングのやり方を教わったりした。児童がパソコン操作に慣れるのではなく、教師が発問をよく練って、どこで議論や発表を取り上げるかが大切だということを学んだ。
- ・気体を粒子モデルで表して、アニメーションを付けたり、フローチャートを作ったりすることは、可視化し、理解を深める上で、とても有効だと思った。
- ・プログラミングを単発で行うのではなく、総合的な学習の時間の一つのツールとしてプログラミングを取り入れることが必要だと感じた。どんなことができるかを適切に把握し、活用していきたいと思った。
- ・様々なプログラミングソフトやウェブサイトを体験することができ、充実した時間を過ごすことができた。特に、マイクロビットを使って温度を表示するプログラムには驚いた。理科の授業などで使うと、子どもたちの関心をかなり引けると思った。是非やってみたい。
- ・アンプラグドの活動は、プログラミング的思考力を育成する入門編としては、とても有意義であると感じた。

「星の観察教室」への御来場 ありがとうございました

8月9日(金)、「星の観察教室」を開催しました。

今年は、193名の方々に御越しいただきました。受付開始後すぐに定員に達したプラネタリウムでの学習会を始め、星座早見盤の製作や天体シミュレーションの体験、4次元デジタル宇宙シアター、小惑星や星についてのクイズや展示に、参加者は目を輝かせていました。

開始直後は曇天のため望遠鏡での星空の観察はできず、「秋田星っこの会」による星のスライドを見たり、お話を聞いたりしました。その後、雲の切れ間から、天体観測室や中央玄関に設置した望遠鏡で月のクレーターや土星、木星を観察することができました。

製作した星座早見盤で、他の季節の星空も観察してみることで、宇宙への関心をさらに深めてくれればと思います。



ラッキースターづくり! かわいい星ができたよ☆ 4次元デジタルシアターで宇宙旅行気分!

来場者アンケートより

- ・とてもわかりやすく、さいしょからさいごまでおもしろかったです。
- ・おりがみコーナーで子どもたちが楽しくつくることができました。プラネタリウムも普段見られないので、とてもよい経験になりました。
- ・プラネタリウムを楽しく観賞することができました。また、来年も参加したいです。
- ・初めてプラネタリウムを子どもに見せてあげることができました。
- ・星のことを、より知ることができてよかったです。
- ・星座早見盤を自分で作ることができたのを初めて知りました。

〈お知らせ〉 12月下旬には「プラネタリウム教室」を開催いたします。詳細につきましては、次号の「総合教育センターだより(172号)」でお知らせします。

